

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 小児腎移植患者における移植腎膀胱尿管逆流発生のリスク因子と移植腎予後に関する後方視的観察研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 腎センター科 職位・氏名 講師・青木裕次郎

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は小児腎移植後の移植腎膀胱尿管逆流の発生頻度とリスク因子を解析し、膀胱尿管逆流が移植腎に与える影響を調査することを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、小児腎移植患者さんの移植腎予後の改善につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：病歴、診療の治療歴、個人情報、透析期間、拒絶反応の有無、尿路感染症の有無、膀胱容量、排尿時膀胱尿道造影検査結果、腎生検病理結果、膀胱尿管逆流の治療歴、移植腎機能、移植腎予後 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年3月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

【試料・情報の取得方法】

対象者：2009年1月～2023年12月までに東邦大学医療センター大森病院腎センター科において、小児末期腎不全のため腎移植を受けた方
方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大森病院 研究代表者：青木裕次郎 役職：講師

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院 青木裕次郎

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2027年2月28日までに(過去に採取した既存試料を利用する場合)下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 腎センター科

職位・氏名 講師・青木裕次郎

電話 03-3762-4151 内線 6757